

# つながろう「光り照らすかがやきっ子」



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
米原市立 山東小学校	山東小学校学校運営協議会 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 1名 0名	大東学区地域学校協働本部

## 取組の背景及び目標や目指す姿

**背景**  
 山東小学校では10年以上前から地域と連携した地域学習に力を入れており、特にホタルとサギソウを生かした環境教育を中核としている。ホタルが夜空に光り、サギソウが青空にまぶしく輝くように、学校と地域を照らす存在となるように子どもたちを育てることが、地域と学校の共通の願いである。また、地域の自然や人々とふれあう活動を通して、かがやきっ子(かんがえる子、がんばり抜く子、心やさしい子、きょう土を愛する子)を育て、米原市の教育のスローガン「子どもたちが自分でつかむ自分の未来」の実現を目指す。

**目標や目指す姿(学校)**  
 夢と志を抱き、学校や地域を光り照らすかがやきっ子の育成



**目標や目指す姿(地域)**  
 地域の自然や人とふれあい、つながりあい、あいさつを響かせ地域を光り照らす子どもの育成

## 山東小学校学校運営協議会 の特徴

- 委員の立場や属性等**
- 教職経験者
  - 地域コーディネーター
  - 保護者・PTA関係者
  - 民生児童委員                      など、計 **10** 名で構成
  - 自治会関係者                      年間平均 **4** 回程度開催

**効果的な運営の工夫**  
 実効性のある協議にするため、事前に学校運営協議会の会長と学校の管理職で打ち合わせを行い、協議すべき議題の整理を行っている。また、学校運営協議会の会議において、資料の説明に多くの時間が費やされていたことから、事前に資料を送付し、協議に時間を使えるように改善した。

## 特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会	地域学校協働活動
<p>年度初めの会議で学校経営ビジョンや目指す子ども像、本会の活動計画などについて共通理解を図った。また、「光り照らすかがやきっ子」を合い言葉に、夢や志を抱く子どもの育成とともに、「ホタル学習」をはじめとする地域学習について熟議を行った。</p>  <p>学校運営協議会の様子</p>	<p>校区の天野川に生息する国の特別天然記念物のゲンジボタルは地域の誇りであり、「ホタル学習」は、地域ボランティアの協力に支えられている。本活動の取組は、ホタルの保全活動や学習会、ほたるパレードの指導など、多岐に渡る。</p>  <p>手作りのホタル飼育箱</p>

**「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等**  
 本校校区においては、ホタルの保全活動は非常に重要な取組となっており、本校のホタル学習などにおいてもホタル保護団体や学校運営協議会の助言や承認を得るとともに、より幅広い地域人材の協力を得るため、市の行政放送や広報誌、学校便りなどで活動内容を周知している。コミュニティ・スクール推進事業と地域学校協働活動に関わる地域人材が一体となった取組を行うために、「ワンチーム山東」の合い言葉を作るなどの工夫を行っている。

**成果・効果**  
 コミュニティ・スクール推進事業と地域学校協働活動に関わる地域人材が一体となった取組を行った結果、広がりのある活動や学習になった。現在、山東小学校の伝統となっている「ホタル学習」の始まりは、コミュニティ・スクール1年目に地域ボランティアの方が、手作りの飼育箱45個を3年生に贈呈されたことがきっかけである。これ以降、毎年ホタル保護団体の代表者が、捕獲したホタルの幼虫を見守り分もって来てくださり、子どもたち一人ひとりが「マイボタル」を育てることができるようになった。そして、ホタルの生態や一生について学習を深め、地域に発信する取組を行った。また、学校運営協議会では、『子どもたちが「ほたるパレード」に参加することは、地域とつながる特色ある教育活動の一つであり期待し、応援する』という声があがった。そして、地域学校協働活動推進員の協力のもと、鼓笛隊とほたる神輿による「ほたるパレード」で、ほたるまつりに参加することになった。ほたるまつりへの参加は地域とのつながりを大切にしたい地域貢献の一つであるが、子どもたちが地域の方に認められ、環境保全の啓発の機会となった。さらには、子どもたちの自尊感情を高め、地域とつながり「光り照らすかがやきっ子」を育てることに結びついた。これらの取組は、コミュニティ・スクール推進事業と地域学校協働活動の二つの事業が一体となり、多くの地域ボランティアの協力を得ることで可能になったものである。今後も、学校運営協議会や地域コーディネーターをはじめとする地域の方との連携を深め、学校と地域がつながり「光り照らすかがやきっ子」の育成に努めていきたい。